



コンプリートオブペナルティ

著作権について

「コンプリートオブペナルティ」PDF 版（以下、本教材と表記）は、著作権法で保護されている著作物です。
本レポートの使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

- 本教材の著作権は菅原にあります。
- お名前の書面による事前許可無く、本教材の一部または全部をあらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファイルなど）により、複製、流用および転売（オークション含む）することを禁じます。

使用許諾契約書

本契約は、本レポートを購読した個人・法人（以下、甲と称す）と菅原（以下、乙と称す）との間で合意した契約です。
本レポートを甲が受け取り、パッケージを開封又は購読することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第 1 条 本契約の目的

乙が著作権を有する本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第 2 条 禁止事項

本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本レポートから得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本レポートに含まれる情報を使用できるものとします。

第 3 条 契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第 4 条 損害賠償

甲が本契約の第 2 条に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、その違約金として違約件数と 10 万円を乗じた金額を支払うものとします。

第 5 条 責任の範囲

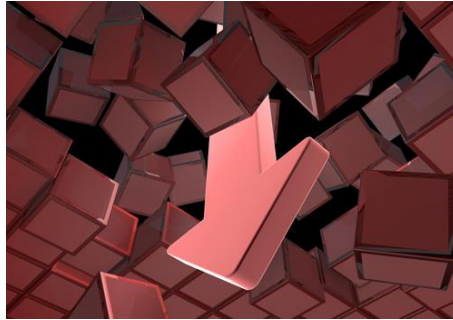
本レポートの情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

目次

グーグルの秘密.....	1
グーグルペナルティにならないために	5
ペナルティの判断の仕方	6
グーグルペナルティには大きく 2 種類	9
被リンクに対するペナルティと解除方法	11
被リンクペナルティへの対策	13
難易度が高い品質に対するペナルティと対策	14
品質に対するペナルティの主な要因.....	18
発リンク数.....	18
話題/コンテンツの重複.....	19
アクセス数／上位表示.....	21
極端に読まれていない記事.....	23
品質のペナルティへの対策	24
外部リンクの減らし方.....	24
アクセス数が少ないページ.....	26
訪問者に興味を持たれていない.....	27
他サイトとキーワードや文章が重複していないか	29

文章を長く書く	30
サイトアフィリエイトにおけるトレンド記事	32
番外編 大企業とは関わらない方が良く？	33
アクセスが増えてもグーグルに目をつけられない方法	33
グーグルサーチコンソールにむやみに登録しない	35
ペナルティから脱する方法？	36
ペナルティをなかった事に？ドメイン入れ替え手順.....	39
ペナルティーの根本的な問題解決方法とは？	44

グーグルの秘密



最近はどんなに素晴らしいサイトも
ペナルティになるケースがあるということが
トップアフィリエイトの中でも言われています。

そこから考えられることは、

**グーグルは完全なS E O対策や、
ペナルティー対策を無くそうとしている。**

ということです。

どういう事かと言いますと、

『これをやったら必ず上位表示できる。』

という完全なS E Oが存在したら、

必ずそれを見つける人が数人います。

そして

その数人のうち何人かがその方法を

高額な料金で売りはじめたら、

お金さえあれば誰でも

上位表示させられるようになります。

これは

グーグルが非常に嫌う現象です。

お金さえあれば、

『つまらないサイトでも上位表示できる』

『政治的な内容や偏った内容のものでも上位表示できる』

『公序良俗に反する内容でも上位表示できる』

となってしまいます。

よって、

グーグルはこれをしたら
絶対に上位表示させられる。
という方法を存在させず、

上位表示させるサイトや
ペナルティにするサイトを
ランダムにすることで、
絶対的なS E Oをつくらない
ということです。

僕の所有するサイトでも、
同じように作成して、
同じようにS E Oをかけても、
上位表示されたりされなかったり、
ペナルティーを受けたり受けなかったり
というばらつきが見られます。

これをすれば

『絶対に検索順位が上がりアクセスを伸ばせる。』

『絶対にペナルティにならない。』

という事はありません。

そして

アフィリエイトにとって最も恐ろしいことは

『グーグルにペナルティを課せられること。』

では無いでしょうか？

サイトをグーグルにペナルティーにされると、

訪問者は限りなくゼロに近づき

当然収益もゼロに近づいていくことになり、

アフィリエイトにとっては死活問題です。

ではどうすれば良いのか？ということ

この『**コンプリートオブペナルティ**』

ではご紹介していきます。

是非この特典でああなたの資産である

ホームページを守って下さい。

グーグルペナルティにならないために

グーグルは1 0 0 項目以上と言われる

一切公表されていない複数の判断基準を持ち、

それらの評価基準を複雑に組み合わせて

ペナルティーの判断を下しています。

よって、

ペナルティーになった際には

なにが原因と特定することは難しく、

どの要素が引っかかったのかを予測して

判断していくしかありません。

これがグーグルペナルティから逃れるのが

難しいと言われる理由ですね。

ここでは僕が多くのアフィリエイト仲間や

コンサルタントと話しをして得た

グーグルペナルティにならないために、

またはペナルティから復活するために

重要な順に対策を紹介していきます。

ペナルティの判断の仕方

まず、

そもそもどうなったらペナルティに

なったかを判断するかですが、

最も簡単なのはグーグルサーチコンソールに

登録している場合です。

この場合ペナルティになると、

ペナルティになったことがサーチコンソールに

通知されるのですぐに分かります。

迷うことがあるのが、

グーグルサーチコンソールに

登録していない場合です。

グーグルサーチコンソールは

便利な仕組みなのですが、

登録を行ったサイトがペナルティになると、

芋づる式にペナルティになるなど

デメリットもあります。

(詳しくは[こちら](#))

よって、

所有している全てのサイトを

登録すべきではないのですが、

その際にはペナルティになったとしても

通知が受け取れません。

よって、ペナルティの可能性がある場合に

どう判断するのかという質問を良くいただきます。

その際に最も判断しやすいのは、

サイトタイトルや記事タイトルをコピーして

検索をかけるという方法です。

通常はタイトル文が他のサイトと全く同じ

というケースは少ないので、

検索をかければ一番上か少なくとも4位以内に

あなたのサイトが表示されるはずです。

しかし、

5位以下の順位だったり、

検索結果の1ページ目に表示されない。

(大体50位に張り付く場合が多いです。)

という場合はペナルティに

なっているケースが多いです。

それかサイトがインデックスされているかを調べ

インデックスが消されている場合は

完全にペナルティです。

グーグルサーチコンソールに登録せずに、

ペナルティを判断する場合は

是非この方法を試してみてください。

グーグルペナルティには大きく 2 種類



グーグルのペナルティには大きく 2 種類あります。

それは

ペンギンアップデートと言われる被リンクに対するペナルティ

パンダアップデートと言われる品質に対するペナルティ

の二種類です。

ペナルティになった際は

グーグルサーチコンソールに登録していても

教えてくれるヒントはこの2種類のペナルティのうち

どちらのペナルティになったのかだけです。

よって、

この2つのペナルティに対する対策や解決は

自分で判断し、行う必要があります。

その方法をこれから説明していきます。

被リンクに対するペナルティと解除方法



まずペンギンアップデートと言われる

被リンクに対するペナルティですが、

こちらは比較的対処しやすいです。

なぜなら

自作自演で被リンクを送っている場合は、

自分で把握しているはずなので、

それを外していけば良いですし、

わからなくなってしまった場合でも

グーグルサーチコンソールでは、

登録されているサイトに対する

被リンクを見ることが出来て、

無効化する機能も付いているからです。

よってペナルティになり、自分で被リンクを

行っている場合は特にそのサイトと

同じ I P アドレスからの被リンクを

全てはずし、再審査の申請を出します。

それでも解除されない場合は、

違う I P アドレスの自作自演リンクを、

それでもダメであれば怪しい被リンクを

無効化出来ますので段階的に無効化していき

審査を申請するという手順ですね。

こうしていくことで、ペナルティが

解除される場合があります。

被リンクペナルティへの対策

被リンクペナルティへの対策としては

下記のことを守っていれば

ペナルティのリスクを減らすことができます。

- 同じキーワードで被リンクを送り続けるなど
アンカーテキストをパターン化しない。
- 実際にアクセスのある被リンクにする。
- 作成したばかりのサイトから被リンクを
送ったりもらったりしない。
- 同じサイトからいくつも被リンクを送らない
- 同じような場所から何度も被リンクを送らない。
- 一気に被リンクを増やさない
- 同じ I P アドレスのサーバーから被リンクを送らない。

というように

『過剰なことをしない』

『パターン化しない。』

という事がポイントです。

このようにしながら、

リスクを抑えて被リンク効果を

最大限上げていきましょう。

難易度が高い品質に対するペナルティと対策



ペナルティ対策で難易度が高いのは

パンダアップデートと言われる

品質に対するペナルティです。

そして、

最近はこのペナルティが非常に多いです。

しかし、

グーグルから通告されることは

『**品質に対するペナルティ**』という事だけなので、

対象の範囲が広すぎ、どこを直していけば良いのか

非常にわかりづらいです。

よって、

まずは始めにグーグルがホームページの

品質に対して何を求めているのかを

勉強されることをお勧めします。

グーグルは非常にわかりやすい内容で

品質に対するガイドラインを出しています。



※グーグルガイドラインへリンク

https://support.google.com/webmasters/answer/35769?hl=ja&ref_topic=600198

1

このガイドラインを一度読んでみてください。

正直書いてあることを

全て守ろうとすると、

アフィリエイトサイトなんか作れない。

と思うくらいの内容なのですが、

例えば他人のコンテンツをコピーしない等

最低限守らないといけないことは分かりますし、

グーグルが望んでいること、

望まないことの傾向を知っているのと

知らないでいるのでは作るサイトに

結構な違いが出てきます。

よって、

初心者の方はまずグーグルの

ガイドラインを読んでもることを

おすすめします。

文章は非常に読みやすい文章です。

そして

一通りグーグルのガイドラインを読むと、

内容は理解できると思いますが

特にアフィリエイトを実践していると

全てを守ることは難しいと感じられると思います。

そこで品質のペナルティに関して

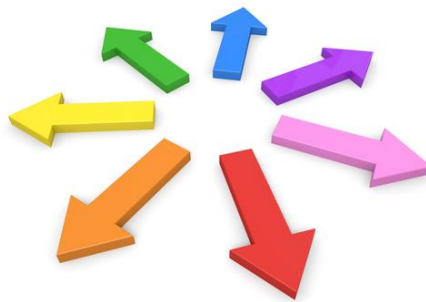
どんな要因があり、何を重視していけば

安全性が高くなるのかを、

ご紹介していきます。

品質に対するペナルティの主な要因

発リンク数



グーグルのガイドラインにも

『サイトの一部にのみアフィリエイトプログラムの

コンテンツを掲載する。』

とあるように、ほぼ全てのページに

アフィリエイトリンクがあるサイトは

ペナルティになる可能性が非常に高いです。

極力減らしていったほうが良いです。

ペナルティになるのもこの理由が多いです。

同じような情報のサイトがネット上に溢れかえりました。

僕も芸能人の名前などで検索すると、

内容が重複したトレンドサイトが上位を占めていることが

よくありうんざりしたことがあります。

グーグルはこのことを非常に問題視し、

トレンドサイトを一齐にペナルティに

したと考えられます。

もちろん他の人が作っていないコンテンツのみを

作るというのは難しいですし、同じジャンルの

他のサイトとある程度話題が重複するのは仕方ないです。

しかし、極端に同じような話題ばかりを扱っているのは

ペナルティのリスクが上がります。

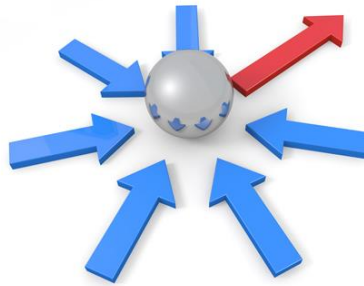
よって同じような話の記事を作成しがちな場合は、

オリジナルの話題やコンテンツを

入れるよう心がけましょう。

そういった事で対策を行い、
話題やコンテンツが偏らないように
していく必要があります。

アクセス数／上位表示



グーグルはアクセスの多いサイトや、
上位表示されているサイトに目をつけ、
ピックアップし目視をして問題がある場合に
ペナルティにする場合が多いです。

グーグルのようなハイテク企業が
ずいぶんアナログな事をしていると
思われるかもしれませんが、

多くのアフィリエイト仲間に聞いてみると、

この傾向が非常に強いです。

恐らく、インターネット上にある

全てのサイトを調べていくときりがないので、

アクセス数が多いサイトや

上位表示されているサイトをピックアップし、

ツール等で外部リンクや文章の内容をチェックし

引っかかったサイトを目視していく。

という方法をとっている可能性が高いです。

しっかりと作りこんだサイトでも

上位表示されはじめたり、

アクセス数が伸びてきたタイミングで

ペナルティにされやすいです。

ちなみに

過去に僕がグーグルからペナルティを受けたサイトも

僕の所有するサイトの中でアクセス数NO2とNO3でした。

極端に読まれていない記事

サイトの中でアクセスが

他のページに比べて極端に少ない記事は、

多くの人に読まれていない

⇒『品質が低い』

と判断されるケースがあるので、

サイトの中で目立ってアクセスの少ない

記事に対しては注意してみていき

修正していく必要があります。

上記内容が品質のペナルティになる

主な要因です。

品質のペナルティへの対策

品質のペナルティに対する対策は

- **外部リンク数が多すぎないか**
- **訪問者に興味を持たれない記事になっていないか**
- **他のサイトと話題やコンテンツが極端に重複していないか**
- **アクセス数が一定数以上あるか？**
- **他のページに比べてアクセス数が少ないページがないか**

といった事に気を付けるべきですね。

これらに対する対策を順番に説明していきます。

外部リンクの減らし方

外部リンクを減らす方法は、

全ての記事から外部リンクを出すのではなく、

外部リンクを集めたページを作成し、

販売ページなど外部にアクセスを飛ばす際には、

一旦そのページに内部リンクで飛ばしてから、

外部にアクセスを飛ばし、

各ページのアフィリエイトリンクは無くす。

という方法が最も有効です。

そして、

外部リンクを集めたページは、

ノーインデックスにすると

かなり、ペナルティの危険性は減ります。

但し

ワンクッション置くと販売率は下がるので、

アクセスを集められている記事や、

販売率の高いページからは

外部リンクを出すなど臨機応変に

対応していく必要があります。

アクセス数が少ないページ

アクセス数が多いページも目をつけられやすいですが、

アクセスがそれなりにあるサイトの中で、

アクセスが少ないページに関しても

『品質が低い』

と判断されるケースがあります。

その際には 2 つの方向性があり、

一つ目の方向性がページを削除する。

という方法です。

サイト構成上ページの削除が難しければ、

ノーインデックスにしてグーグルに見せないようにします。

そういった消極的な方向性ですね。

二つ目はサイト修正の方向性です。

反応が悪いと思われる箇所を修正して

読者に興味を持たせたり、

文章やキーワードを追加して SEO 上有利にし、

アクセス数を上げるという事ですね。

記事に追記することは

グーグルからの評価も上がりやすいので

この修正という方法は有効です。

アクセスが少ない場合は

この 2 つの方向性で対処していきます。

訪問者に興味を持たれていない

あなたのサイトが訪問者に評価されているか否か、

グーグルがどう評価しているかというと、

主に『**サイト回遊率**』『**滞在時間**』

を見ていると言われています。

この2つの数値を上げるのに有効なのは

内部リンクです。

関連した記事や、実際にその記事を読んだ後に

多くの人が読んでいる記事を案内することによって、

複数のページを見てもらい直帰率を下げ、

サイト回遊率や滞在時間が上がり、

グーグルからの評価が上がりやすいです。

ちなみに外部リンクは増やし過ぎると

ペナルティの対象になりやすいですが、

内部リンクに関しては多くても今の所問題ないので、

(販売につなげる内部リンクを除く)

積極的にこの方法を利用して

サイト回遊率を上げて下さい。

あとはアクセスが少ない際の対処方法と

重複する部分がありますが、

訪問者が興味を持つような面白いコンテンツにしたり、

文章量も多めにして読み応えのある内容にして

『サイト回遊率』『滞在時間』を上げていくことで、

グーグルも訪問者に評価されているサイトと認識していきます。

他サイトとキーワードや文章が重複していないか

こちらに関してはなかなか判断が難しいと思いますが、

怪しいと思う時は、有料ではありますが

コピーコンテンツを見つけるソフトを利用して

サイトにアップする前に一度書いた文章を

チェックするのが有効です。

もしよければコピーコンテンツを見つけるソフトを

紹介しているので一度見てみて下さい。

(<http://netbe.jp/copiperin/>)

こういったツールでチェックすることにより、
文章が重複していないかのチェックを
簡単に行なう事ができます。

ここで重複する文章が多数ある場合は
書き直しが必要です。

文章を長く書く

多くのサイトと話題やコンテンツがかぶらない
ようにする方法で一番簡単なのが

『文章を長く書く』

という事だと僕は考えています。

どういう事かというと

結局ホームページで書く内容というのは

他のホームページから情報を得ることが多く、

リライトのようになる場合がほとんどだったり、

芸能記事などは情報源が誰でもほぼ同じなので、

同じような話題やコンテンツになる確率は更に上がります。

そこで

長い文章を書いていくと、

書き手オリジナルのコンテンツを

出さざるを得なくなっていく、

同じようなコンテンツの使用率が

減っていきます。

同じようなコンテンツを使用しない。

というよりも、オリジナルのコンテンツで

同じようなコンテンツの比率を薄めていく

イメージですね。

そうすることで重複した内容やキーワードによる

ペナルティの確率は減っていきます。

サイトアフィリエイトにおけるトレンド記事

サイトアフィリエイトであっても

特に初期の段階でトレンド的な要素の

キーワードを入れてアクセスを稼ぐという

テクニックは有効だったりします。

しかし、

そのまま放置しておく多くのサイトで

使われている話題やキーワードが入っていることで

グーグルに目をつけられやすくなります。

よって、

トレンドキーワードを利用し、

ある程度時間が経ったら、その記事は

消去したり修正していく必要があります。

このタイミングの目安ですが、

アクセスが減った段階で行うのが適切です。

番外編 大企業とは関わらない方が良い？

扱っている商品の市場に

大企業が入っている商品のサイトは

ペナルティになるケースが多いと感じます。

これは

僕のまわりの多くの実践者も感じていることで、

避けようが無い場合もあると思いますが

念頭に置いておくの良いです。

アクセスが増えてもグーグルに目をつけられない方法

アクセスの分散に関しては

一定数以上アクセスが伸びてきたら

(大体 1 日 150 アクセスぐらい)

下記どちらかの方法を取っていきます。

一つ目の方法は

グーグルに目をつけられる前に

そのサイトへの作業はストップして、

新しくサイトを作成し、

アクセスを分散させて、

目立ち過ぎないようにしていく方法。

二つ目の方法は

そのジャンルや商品情報等販売ページへのリンクや、

販売に結びつく内部リンクも無い記事を

追加していく方法です。

別の言い方をすると販売するためのページの比率を下げて、

お役立ち情報や多くの人が興味を持っていることに対する

記事を書くということですね。

特に 2 つめの方法はオウンドメディアが

評価されやすい最近は特に有効になってきています。

アクセスを 1 日 500、1000 アクセス以上と

上げていってもペナルティを避けたい場合は

特に有効な手段です。

アクセスが増えてきたら

上記 2 つの方法を意識するようにして下さい。

グーグルサーチコンソールにむやみに登録しない

グーグルサーチコンソールは

あなたのサイトに対する

重要な情報を知らせてくれたり、

インデックスを促す仕組みを持っていたりと、

便利なサイトです。

しかし、

サーチコンソールに複数サイトの登録を行っていて、

ひとつのサイトがペナルティになった際に

他のサイトも芋づる式にペナルティになった。

という報告が非常に多いです。

よって、

基本的にアフィリエイトサイトは

本当にホワイトな手法で運営して、

重要と考えているサイト以外は、

登録を行わない。

というのが最近のアフィリエイトターの

常識になっています。

ペナルティから脱する方法？

今まで紹介してきたペナルティ対策をしても

ペナルティになることは多々あります。

特に『品質のペナルティ』に関しては、

一度認定されると解除されることは極めて難しいです。

よって、

あなたが所有するサイトが品質のペナルティになった場合は、

そのサイトは手放すことを検討する必要もあるのですが、
下記方法を採用することでサイトが復活するケースがありますので、
収益を上げているサイトがペナルティになった場合は
これから紹介する方法を試してみることをおすすめします。

・ 301 リダイレクト

301 リダイレクトはドメインを変更する場合や、
ページの URL を変更する際に
過去のドメインや URL から
新しいドメインや URL に転送をかける方法です。

あなたのサイトがペナルティになった時に、
この 301 リダイレクトを行うと、
ドメインを変更したとしても、
時間が経てばグーグルに捕捉され
その新しいドメインもペナルティになります。

しかし、

この 301 リダイレクトを 3 回、4 回と繰り返すと

グーグルに捕捉されずにペナルティから

逃れられる場合があります。

これは必ずペナルティから逃れられる

方法ではないのですが、

特にアクセスが少ないサイトに関しては

有効なケースがありますので、

ダメ元でも復活させたいという場合は

まずは使ってみると良いと思います。

僕の場合は 30%位の確率で

成功しています。

ペナルティをなかった事に？ドメイン入れ替え手順

特に被リンクのペナルティになった際に

完全にではありませんがある程度までは

アクセス数を回復できた方法をご紹介します。

その方法とは

『**ドメインを入れ替える。**』という方法です。

ペナルティになったサイトのインデックス情報を削除して、

サテライトサイト群の中で最もアクセスがあったドメインに、

記事コンテンツをそのまま入れかえます。

そして、

他のサテライトサイトから被リンクを一気に付け替えるだけで

ある程度まで回復することが多々あります。

品質に対するペナルティの場合も

グーグルにインデックスされている情報を

全て消して、別ドメインにのせかせて

ペナルティの原因になったと思われる箇所を

修正したり削除してアップすることで

再度ペナルティになる可能性は減ります。

手間を掛けたくない場合は

グーグルから最も注目されるトップページのみを

リライトして、様子を見るのもあります。

別ドメインに載せ替える手順は、

グーグルサーチコンソールに

ペナルティになったサイトを登録し、

登録が終わったらサイトをバックアップします。

そして、

バックアップが終わったら

登録したサイトに noindex タグを付けるか、

サイトをインターネット上から削除します。

(削除がおすすめです。)

サイトの noindex 処理か削除が済んだら

グーグルサーチコンソール管理画面で

『google インデックス』

⇒『URL の削除』

の画面にいき



『一時的に非表示にする』をクリック

⇒空欄に入力せず『続行』をクリック

そして次の画面に移動し



⇒『リクエストを送信』をクリック

とすることでインデックス情報等サイトデータが

インターネット上から数日後に消されます。

そして、

数日後に削除したサイトが

インデックスされているかを確認し、

インデックスされていなければ、

新しいドメインに削除したサイトデータを入れ

アップすることでドメインの入れ替え作業は終了です。

こうすることである程度までアクセス数が

回復するケースがありますので、

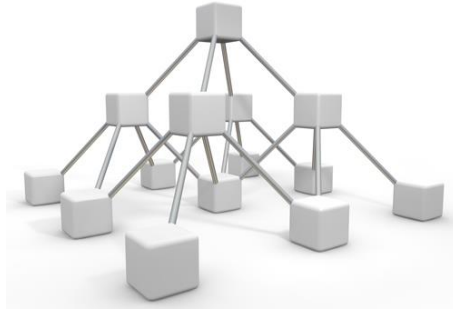
収益を多く上げていたサイトが

ペナルティになった場合は

301 リダイレクトを使用する方法と

併用して実践されると良いですね。

ペナルティーの根本的な問題解決方法とは？



ここまでペナルティを避ける方法や、

ペナルティになった際の対処方法を

紹介してきましたが、

グーグルペナルティーに対する

根本的な問題解決方法は

『飛ばされても問題無い体制を作ること』

です。

この体制を作ること、

グーグルペナルティは当然のこと

アフィリエイトで起こる大抵の問題に

対処可能になります。

ぜひこの方法だけでなく、

考え方を身につけて

あらゆるリスクから

自由になってください。

・効率的なリスク分散の仕方

まずはリスク分散です。

具体的には

『様々な切り口で複数のサイトを作る』

ということをしていきます。

サイト運営をしていく中である程度、

アクセスがあったり、商品が売れて、

収益化出来そうだと判断できた場合は、

サイト作成した商品の競合商品を

メインにしたサイトを作成したり、

比較サイト、ランキングサイト、レビューサイト

ターゲットの変更といったようにサイトの切り口を変えて

複数のサイトを作成していきます。

1つのサイトを徹底的に強くする場合よりも、

一つ一つのサイトへのアクセスは少ないですが、

それがリスク分散になりますし、

トータルのアクセス数でいうと

かなりのアクセス数が集まります。

この方法は1つのサイトが

ペナルティーにされても

致命傷にならないだけでなく、

アクセス数が少なく、目立たないブログは

ペナルティになりづらい。

という点でも非常に有効です。

そうすることでリスクを最小減にしながら

高い効率でサイト群を作っていきます。

ここまで書いてきたことが、

現在グーグルペナルティになる

原因と対策です。

これらの考え方や手法を

使用していくことによって、

グーグルからの

ペナルティのリスクは

大幅に減らすことが

できるようになります。

ぜひこの『コンプリートオブペナルティ』を

生かしてあなたのサイトを長期間稼げる

資産サイトにして下さい。

菅原